



総務省

Ministry of Internal Affairs
and Communications

地域人材ネット

伴走型人材育成から始まるまちづくり
まちの人の補助線になる中期計画策定

梶岡 誠生 (かじおか のぶお)



○ 登録者情報

所在地

茨城県石岡市

略歴

1996年 日本大学芸術学部写真学科卒業
1996-2004年 (株)カジオカエルエイ ガーデニングショップの多店舗展開と公園設計に従事
2005年 まちづくりコンサルタントとして独立
2010年 茨城県石岡市タウンマネジャーに二年間従事
2012年 茨城県水戸市タウンマネジャーに二年間従事
2013年 埼玉県越谷市タウンマネジャー & TMOアドバイザーに八年間従事
2014年 島根県江津市タウンマネジャーに約二年間従事
2015年 常総市水害復興商業アドバイザーに二年間従事
2016年 岐阜県多治見市多治見まちづくり会社(現 たじみDMO)アドバイザーに三年間従事
2016年 富山県氷見市商店街アドバイザーに約二年間従事
2020年 埼玉県寄居町タウンマネジャーに二年間従事
2021年 茨城県利根町「とねまち起業塾」専任講師に三年間従事

著書・論文等

〇 伴走型人材育成から始まるまちづくり まちの人の補助線になる中期計画策定

取組の内容

全国の都市の大きさにかかわらず中心市街地活性化に取り組んでいます。

商業面の支援(まちづくり会社の起ちあげ、地元意識の高い新規起業の起ちあげ)や、民間の複数の事業を3-5ヶ年計画で結びつけ、より活性化効果の高い計画作りと計画実施を支援しています。

例えば、埼玉県越谷市では「まちづくり」や「街の活性化」に取り組む人材を見つけ育てるところから始まり、地元業者や住民のシビックプライドを醸成し、民間資本のまちづくり会社を設立させました。まちづくり会社を中心にマルシェなどを定期開催し、セミナーなどを行いながら、まちなかの個人事業主や小商い事業者の数を増加させ、地元企業との結びつきを強固なものにしていきました。

街づくり活動から派生した古民家リノベーション事業が増加し、多くの都内在住者が土日に来越谷することが調査により分かり、越谷住民(個人事業主・飲食店・小商い事業者・その他)の持つ技術をセミナーの形で体験できる「越谷技博」(期間は二ヶ月)を提案し、都内在住者を含むマイクロツールの来越谷の増加を推進させました。いまでは年に一度の観光事業になっています。

これにより空店舗も10店舗から0になり、日光街道越ヶ谷宿の土日歩行者数は平日の2倍になりました。越谷の中心市街地の変化は約5年かかりました。

このように、事業やメディア、鉄道会社との協力の下、街の人たちの自発性をかき立てる補助線的な中期的計画を制作し、実施支援をいたしております。

商業支援では、次に街で起業する事業予定者にしっかりとした商いの感覚を持って頂いてから開業してもらえよう、個人の相談に乗りながら行う伴走型起業塾を茨城県利根町で三ヶ年実施しました。



越谷市 個人宅の庭でマルシェ開催
(次年度コミュニティカフェができる場所でイメージづくりのためのマルシェ)



とねまち起業塾卒業生と現役生の交流会

実績

2011年8月 震災後、被害が甚大だった石岡市の御幸通商店街で計画した復興イベントを支援。イベントは、ボランティア100人以上と商業者と行政の協力のもと、参加者1万人を超える大イベントとなり、この後市内各地で復興イベントが行われた。

2013年 支援していた水戸市泉町二丁目商店街が経済産業省「がんばる商店街30」に入る。

2014年 水戸市泉町二丁目会館でのまちなかワイナリー「ドメヌ水戸」の開業支援を行う。

2015年 水戸市の小型複合商業施設「コミュニティセンター」建設支援。

2014年 江津市「パレットごうつ」の開業前に事業プログラムの作成を支援。

2016年 多治見市で複合商業施設「ヒラクビル」の開業までの周知計画とマーケティング計画を作成し、開業後、商業エリアの通行量が2倍以上に増加。

2016年 越谷市に民間のまちづくり会社を創業支援、その後コミュニティカフェ→コワーキングスペース→飲食店テナント→スモールオフィスなどを順次運営する。

2017年 氷見市の寂れた商店街で、地域おこし協力隊を中心とした氷見商業をブランディングする「うみのアパルトマルシェ」を開催する。人口2万人に対して、人口以上の来場者があった。

2021～2023年 利根町「とねまち起業塾」専任講師をし、三年間の生徒の平均起業率約67%となる。

工夫した点や苦労した点

大きな街・小さな街、それぞれに魅力があります。その中でも人が考える新しい社会への思いを、支援し事業化するお手伝いをしてきました。最近では、若者から高齢者までまちなかでの事業創出の意欲は高くなっています。全てがそのまま上手くいくとは限りません。現代的なマーケティング、そして地域起業の地元の巻き込み方、各事業の持続可能な仕組み作りについて、伴走支援しています。まちなかでの事業種類の変化(物販中心から、サービス・福祉・スモールオフィスなどのへ変化)に対しての受入側(商店街組織・地域住民等)の教育も時間をかけて行うことで、エリアの現代的なアップデートを事業者とともにエリア全体で行う事が出来るように努めています。

ひとことPR

写真・造園土木・種苗管理・店舗運営・コーディング(データベース・アプリ等)・プロジェクトマネージャー・ホテル結婚式場の企画運営・建材輸入や事業買収などをタウンマネージャーになる前の経験と日本全国の街づくりの最先端のなかで働いてきた経験から、民間事業の組み合わせ、コラボレーションによる地域活性化計画の策定支援、アドバイスを得意とします。

○ 参考

取組分野の分類

登録者の取組を12の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

1.地域資源を活用した地域経済循環	2.まちなか再生
地場産品発掘・販路開拓	○ 中心市街地活性化
6次産業化	○ 空地・空家・空きビル・空き店舗等対策
経営資源の引継(事業承継等)・起業支援	○ 商店街活性化
地域中核企業等の支援	○ その他
その他	
3.生活機能の維持	4.環境保全・SDGs
地域医療・福祉	分散型エネルギーシステム
地域交通	地球温暖化対策
集落機能の確保	廃棄物・リサイクル対策
その他	その他
5.防災減災・危機管理	6.観光振興・交流
建築物耐震化・長寿命化	○ DMOとの連携
地区防災計画	インバウンド対応
BCP	民泊・農泊
避難所運営	○ 地域おこし協力隊の推進
感染症対策	その他
その他	
7.関係人口の創出・拡大	8.移住・定住促進
○ 滞在・活動の場づくり	○ 起業・事業承継等支援
○ 地域おこし協力隊の推進	○ 空地・空家対策
○ 地域と関係人口の協働	○ 地域おこし協力隊の推進
その他	その他
9.少子化対策、子ども・子育て支援	10.地域づくり人材の育成・教育
結婚・出産・子育て支援	○ 人材研修
働き方改革	ふるさと教育
子どもの貧困対策	地域と教育機関の連携(高校魅力化・域学連携等)
その他	その他
11.自治体経営イノベーション	12.シティプロモーション・地域PR
財政マネジメント(公共施設管理・公会計整備)	○ 地域プランディング
官民連携(PPP・PFI)	○ メディア活用策
自治体間連携	○ 効果の把握・評価
住民参加	その他
EBPMに基づく政策立案	
その他	

関連ホームページ

まちづくりコンサルタント梶岡	https://nobuosite.wordpress.com/author/nobuosite/
結実計画会議	https://ketsuittu.glide.page/

連絡先

メールアドレス	nobuo [アットマーク] machi-kaji.site		
---------	--------------------------------	--	--

※メールを送る際には[アットマーク]を『@』に変えてください。